

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

大分市長 足立 信也 殿

提出者

住 所 大分市大字里2111-2

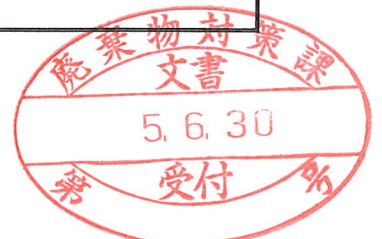
氏 名 旭化成メディカル株式会社 大分事業所

生産技術統括本部長 福田 達也

電話番号 097-593-1570

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成メディカル株式会社 大分事業所
事業場の所在地	大分市大字里2111-2
計画期間	令和 <sup>5</sup> 4年 4月 1日 ~ 令和 <sup>6</sup> 5年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2741 医療用機械器具製造業
②事業の規模	—
③従業員数	900人
④産業廃棄物の一連の処理工程	処理計画 別紙-1のとおり



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項					
処理計画 別紙-2のとおり					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（令和 4年度）実績】 * 別紙 詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	排出量	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 有価物化の検討 製造工程収率UP 廃棄物分別の徹底				
②計画	【目標】 * 別紙 詳細表のとおり				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	排出量	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 有価物化の検討の継続 製造工程収率UPの継続 廃棄物分別の徹底の継続				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有価物、廃棄物分別の徹底				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有価物、廃棄物分別の徹底				

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（令和 — 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)				
—					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)				
—					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（令和 — 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)					
—					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
(今後実施する予定の取組)					
—					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（令和 — 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)				
—					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)				
—					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	全処理委託量	— t	— t	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t
(これまでに実施した取組)					
処理委託業者に対する現地確認の実施。 ゼロエミッション。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—	—	—	—
	全処理委託量	— t	— t	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t	— t	— t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>処理委託業者に対する現地確認の実施の継続。 ゼロエミッションの継続。</p>				
※事務処理欄					

(第6面)

備考

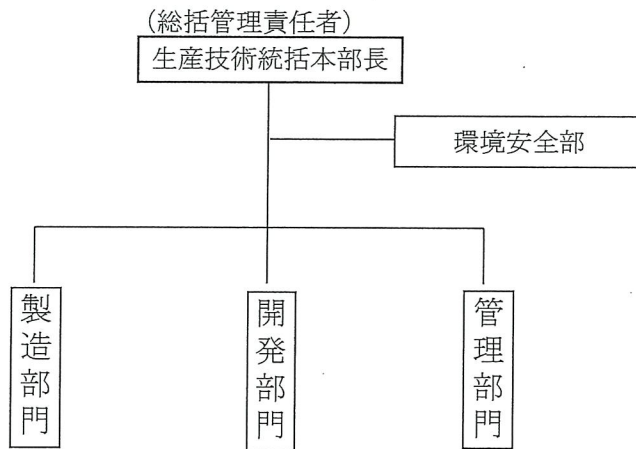
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

上段:実績値 下段:目標値	排出量	自ら 再生利用 を行う量	自ら 熱回収を 行う量	自ら 中間処理により 減量する量	自ら 埋立処分又は 海洋投棄処分 を行う量	全処理 委託量	優良認定 処理業者 への委託量	再生利用 業者への 委託量	認定熱回収 業者への 委託量	認定熱回収 業者以外の 熱回収を行う 業者への 委託量
燃え殻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
汚泥	136t 135t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	136t 135t	136t 135t	0t 0t	0t 0t	0t 0t
廃油	33t 32t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	33t 32t	13t 12t	0t 0t	0t 0t	20t 20t
廃酸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廃アルカリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廃プラスチック類	1024t 1013t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	1024t 1013t	908t 898t	0t 0t	0t 0t	52t 52t
紙くず	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木くず	2t 2t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	2t 2t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t
繊維くず	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動植物成残さ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動物系固形不要物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ゴムくず	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金属くず	2t 2t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	2t 2t	2t 2t	0t 0t	0t 0t	0t 0t
ガラスくず及び陶磁器くず	1t 1t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	1t 1t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t
鉱さい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
がれき類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動物のふん尿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
動物の死体	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ばいじん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廃蛍光灯	1t 1t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	0t 0t	1t 1t	1t 1t	0t 0t	0t 0t	0t 0t
前年度実績値	1199t	0t	0t	0t	0t	1199t	1060t	0t	0t	72t
今年度目標値	1186t	0t	0t	0t	0t	1186t	1048t	0t	0t	72t

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制と役割	生産技術統括本部長	・廃棄物管理の総括
	工場長、技術開発部長等各部門の長	・廃棄物の抑制及び管理の責任
	環境安全部 (産業廃棄物管理事務局) (特別産業廃棄物管理責任者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物処理委託契約の締結</li> <li>・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付、管理</li> <li>・工場の廃棄物管理規定の策定、改廃</li> <li>・工場の廃棄物処理計画の策定</li> <li>・廃棄物管理状況の確認</li> <li>・処理業者の調査、選定及び管理</li> <li>・監督官庁への各種報告</li> <li>・社員、関連会社に対する教育、啓発</li> </ul>
その他	ISO14001認証月日	2005年11月25日
	外部への情報公開	認証機関: JQA 登録番号: JQA-EM7684 旭化成グループ全体として公開

産業廃棄物管理組織図





産業廃棄物の一連の処理工程

